



船舶にかかわる国際標準化等に関するアンケート（要望調査）結果概要 （2019年度）



2020年2月26日
第31回標準部会 承認

アンケート(要望調査)の実施概要

- ◆ 実施期間: 2019年 7月 2日～ 8月 9日
- ◆ 実施対象: 当協会の賛助会員及び標準部会(分科会、WGを含む)約200社(注)
(注)団体賛助会員からその構成会員へ通知されているものは含まない。
- ◆ 回答数 : 35

設問	質問内容	設問	質問内容
1	船舶関係の国際標準化(ISO/IEC)、日本産業規格化(JIS F)にしたい、製品・試験等がございましたら、その概要及び理由をお書きください。	6	国際標準化を検討したいが、国際標準化案の作成、国際会議での協議の方法がわからない等、困っていることはありませんか？
2	船舶関係の国際標準化(ISO/IEC)、日本産業規格化(JIS F)が必要と思われるものがあれば、当該製品・試験等の概要及び理由をお書きください。	7	業務で役立っている、船舶関係の国際標準(ISO/IEC)・日本産業規格(JIS F)をお書きください。
3	船舶関係の既存の国際標準(ISO/IEC)・日本産業規格(JIS F)で、内容が現実とそぐわない等、改正したほうがよいものがあれば、当該規格番号及びその理由をお書きください。	8	船技協で毎年開催している標準化研修(年度上半期に開催)又は標準化セミナー(年度下半期に開催)に参加したことはありますか。また、研修及びセミナーへのご要望等ございましたらご記入お願いします。
4	2. 及び3. の設問のいずれかに「ある」とご回答された方にお伺いします。 国際標準(ISO/IEC)・日本産業規格(JIS F)の新規作成又は既存規格の改正にあたり、担当所となり作業をご主導頂くことは可能でしょうか。 回答: 可能、不可能、保留、その他	9	現在の船技協の国際標準化への対応について問題点があれば、お書きください。また、その解決策があれば、併せてお書きください。
5	船舶関係の日本産業規格(JIS F)で、国際標準化(ISO/IEC)すべきものがあれば、当該規格番号及びその理由をお書きください。	10	その他の船技協の標準化活動へのご意見、ご要望等ございましたらお書きください。

設問1: ISO/IEC規格化、JIS F規格化したい、製品・試験等。

◆ 回答数 :5

回答者	製品名	概要	対応
舶用機器メーカー	アラームモニタリングシステム(AMS)と他社機器間の通信インターフェース統一化	例として、各エンジンメーカーにて通信インターフェースが異なる	AMSと他社機器間の通信インターフェースは、事実上IEC61162シリーズ若しくはModbusシリーズに統一されているが、具体的にやり取りを行う計測点やメモリー空間については各機器各社で異なっており、標準化は現段階では困難。しかし、自動運航船に関する技術の向上や今後のネットワークの拡大を考えると、現時点で「不可能」との結論ではなく、「実現に向けての課題・問題点」の抽出を行う等の検討を担当分科会に於いて今後継続実施。
検査機関	1. 保護衣 耐冷仕様の試験 2. 消防員装具 面体(目の保護)	国内で液化水素運搬船の建造計画が進められている。極低温の液化水素に対しての耐冷試験方法と性能基準を明確化。 また、水素火災時に強い紫外線が生じるので、消防員の目を保護する為の技術基準が必要。	関係企業へヒアリングの結果、陸上においても液化水素の取扱いにおいて、格別の対応を求められていないことがわかった。よって当面規格化の必要なし。

- ◆ 設問2: ISO/IEC/JIS化が必要な当該製品・試験等の概要及び理由
- ◆ 回答数: 6

回答者	製品名	概要	対応
舶用機器メーカー	船内LANのIPアドレス割付に関するルール制定 無線LAN(船外)	就航後の機器追加に伴い、IPアドレス重複が発生し、船内の通信に影響が生じるため。 各国により電波法が異なるため、船舶として使用可能な規格化	LANに関しては、現在改訂中のISO 16425(船内LAN装備指針)又はISO 19848(船内データ標準)で扱えるか(要件化できるか)を今後検討。
船主	ECDIS S-MODE	IMO NCSR 5/7(14 November 2017)で発行されているECDIS s-Modeについて、もしISO/IECで標準化していなければ、必要なのではないか。	ECDIS s-ModeについてはIEC 62288(航海関連情報表示ディスプレイ)改訂で加味される予定。
舶用機器メーカー	IEC62271-100,200 舶用高圧配電盤及び遮断機	近年の船舶の大型化に伴い、高電力船の需要が増加し、それに伴い、配電盤も高圧(6.6kV)需要が増加したため。	IEC/TC 17(高圧開閉装置及び制御装置)(国内審議団体:一般社団法人電気学会)の担当案件であるため、JSTRAの一存では対応できないが、積極的にJIS化を希望されるのであれば提案者と電気学会との橋渡しを行う。(提案者が、JIS化に積極的でなければ対応は終了)

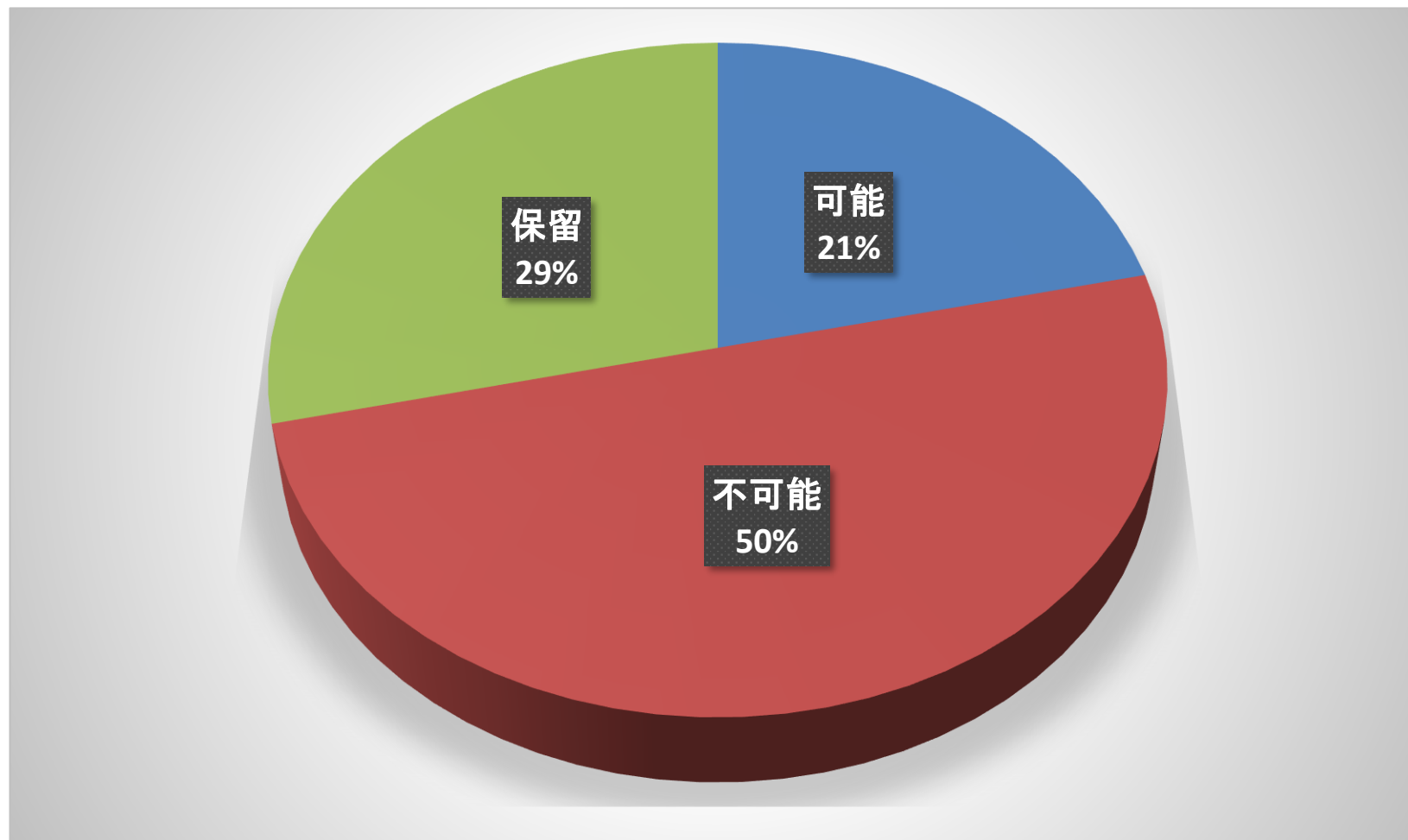
◆ 設問3: 既存ISO/IEC/JISへの改正要望

◆ 回答数: 13

回答者	製品名	概要	対応
検査機関	IEC 60945:2002 航海及び無線通信機器並びにシステム - 一般要求事項 - 試験方法及び所要試験結果	前回の改正から17年を経過しており類似内容を扱う、IEC 60533及び来年から強制適用される船級協会連合格規格IACS UR E10と比べて、大変古い内容さらに誤り、不明確な記載等があり、早急な改訂が必要。	IEC 60945の改訂の話は2年ごとに開催のIEC/TC 80総会でも毎回挙がっており、改訂の必要性は各国認識。しかし、各国の輸出入に用いられている環境試験としてIEC 60945が用いられているところ、その影響の大きさから、具体的な改訂の話に至っていない。
検査機関	ISO 10133:2012 小型船舶—電気系統—極低電圧直流設備 ISO 13297:2014 小型船舶—電気系統—交流設備	供給電圧に係る長さ24m未満の小型船舶のISO基準は、左記2規格しかなく、それぞれ対象が50ボルト未満、250ボルト未満であり、250ボルトを超える電気機器を搭載する船舶の基準がないことから、新規に規格を制定する必要がある。	ハイブリッド船などの就航により、250Vを超える電気機器に関する国際標準化が急務であり、提案機関にて2020年度に調査研究が行われることから、この結果を踏まえ、継続審議。
検査機関	JIS F2615:2006 パイロットラダー JIS F2617:2012 救命艇用なわばしご	ISOの最新版に合致させる改正作業を進めることを強く希望します。 ラダー製造者がJIS FとISOの間の齟齬に困っています。	JIS F 2617については、対応規格のISO 5489の追補を日本から提案することになっているため、その取入れ等JIS化の方針を今後対応WGで検討。 JIS F 2615は、対応規格のISO 799が799-1, 2, 3部に分かれ、第2部および第3部は審議中であることから、JIS化の方針を今後対応WGで検討。
船用機器メーカー	ISO9875 船用音響測深装置	IMOの性能要件 MSC302(87) Bridge Alert Management(BAM)を及びIEC試験規格IEC 62923-1対応規定に追加する。その他、本規格発行以降に発効された規格に関しても合わせて追加する。	次年度調査研究候補。 提案者に原案作成だけでなく、海外交渉も含めた対応の委託を計画。

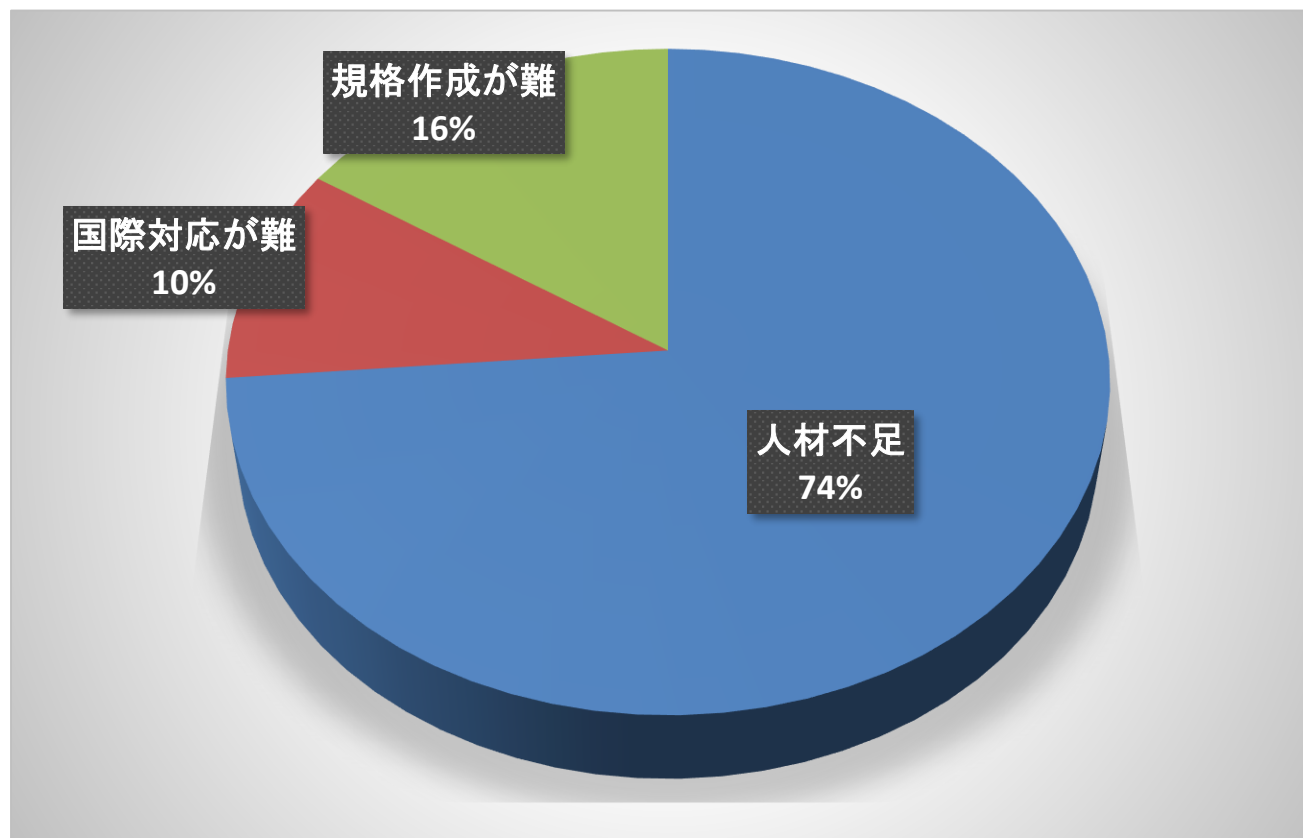
主なご要望を掲載。 その他、条約、法律改正要望、主管庁、検査機関への要望のみの提案については割愛

- ◆ 設問4: 設問2及び設問3への意見提出者を対象とした担当所引き受けの是非
- ◆ 回答数: 14



- ◆ 設問5: 既存JISでISO/IEC化をすべき規格
- ◆ 回答数 :0

- ◆ 設問6: 国際標準化したいが、困っていること。
- ◆ 回答数 :19

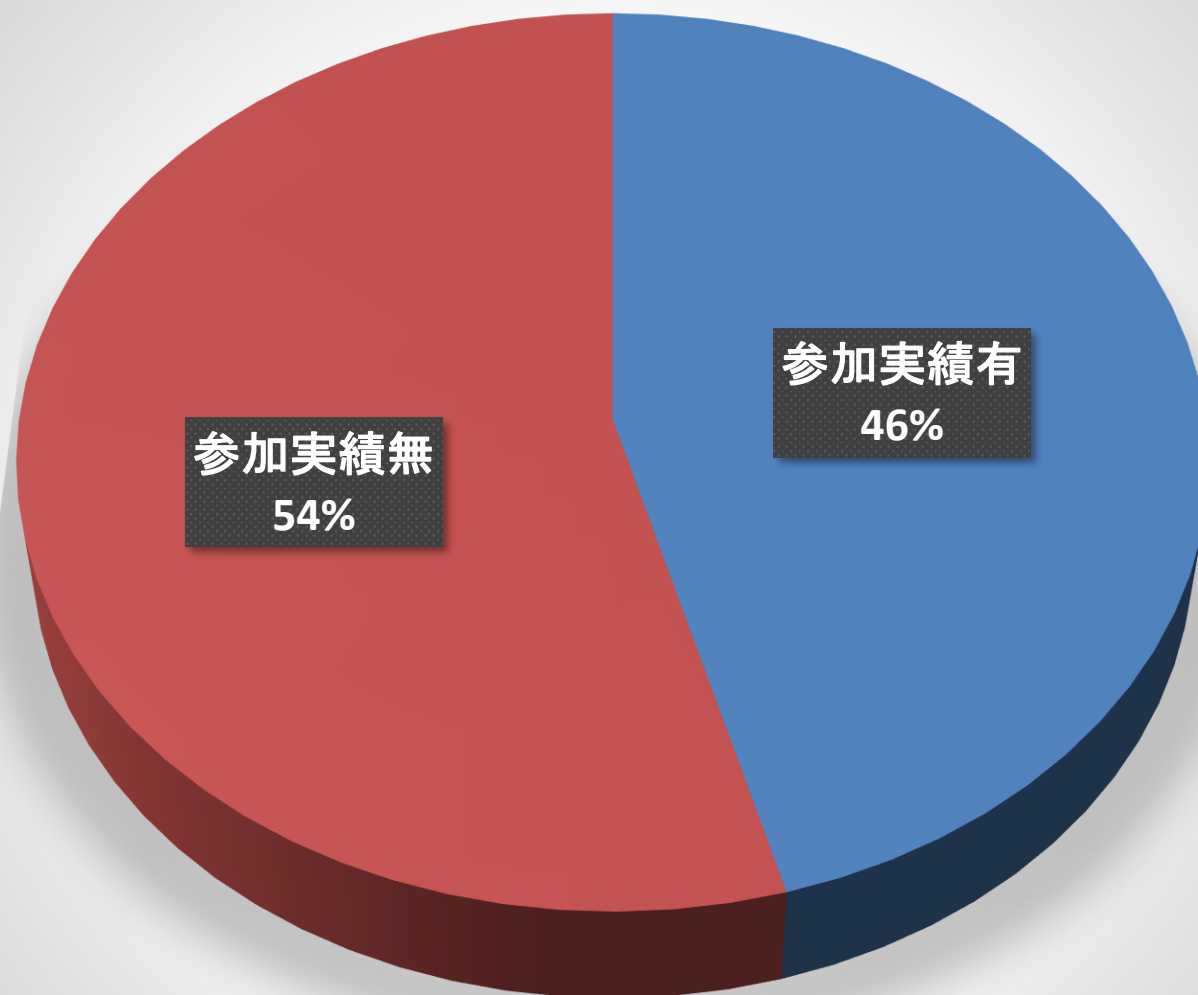


◆ 設問7: 業務で役立っているISO/IEC規格

◆ 回答数 :23

回答者	ISO/IEC規格
造船所	JIS F 0407ディーゼル船における機関室通風－設計要件及び計算基準 JIS F 0408機関制御室の空調及び通風基準 JIS F 7113船用通風路ダンパ JIS F 8041船舶の照度基準及び照度測定方法 JIS F 8442特殊形カーゴランプ ISO 484-1 船用プロペラー製作許容差－第1部:直径2.50mを超えるプロペラ ISO 484-2 船用プロペラー製作許容差－第2部:直径0.80m以上2.50m以下のプロペラ ISO 7547船の居住区の空調及び通風－設計条件及び計算基準 ISO 15016 速力試運転
船用機器メーカー	IEC TC80及びISO TC8 SC6が開発した航海機器、無線通信機器関連のISO, IEC, JIS規格 IEC 60945 船橋機器の環境要件 IEC 61162 デジタルインタフェース IEC 61174等 電子海図表示及び情報システム(ECDIS) IEC 62271-200 高電圧開閉装置及び制御装置－第200部:定格電圧が1 kV超52 kV以下の交流金属外殻開閉装置及び制御装置 IEC 62288 海上輸送航行ディスプレイ上の航海関連情報の提示 IEC 62388 海上輸送レーダ IEC 80005-1 港内のユーティリティ接続－第1部:高電圧陸上接続(HVSC)システム
検査機関	JIS F 8013 船用電気図記号－通信, 計測, 航海及び無線関係 JIS C 8715-2 リチウム二次電池の単電池及び電池システム－第2部:安全性要求事項 IEC 60533 船舶用電気及び電子設備－電磁両立性(EMC) IEC 60092-504 船舶用電気設備－第504部:自動化, 制御及び計装 IEC 60945船橋機器の環境要件

- ◆ 設問8: 「標準化研修」への参加の有無
- ◆ 回答数 : 35



◆ 設問9: 当協会の国際標準化への対応について

◆ 回答数: 1

回答者	意見
船用機器メーカー	ドイツに負けないように電子傾斜計の強制化に尽力いただけると幸いです。

◆ 設問10: その他の当会標準化活動へのご意見、ご要望等

◆ 回答数: 5

回答者	ISO/IEC規格	対応
造船所	国際標準化に関する貴会の取り組みについて、もっと分かりやすい形で情報発信されることを提案します。また、その取り組みの重要性についても、分かりやすくご説明いただければと思います。 (私を含む大半の企業の人間は、目の前の業務をこなすことに精一杯で、将来的に必要となるであろう貴会の取り組みに対する優先度はどうしても低くなりがちであるため)	ホットメール等での情報配信を継続しつつ充実させる。 また、毎年上半期に開催の標準化研修、下半期に開催の標準化セミナーに参加いただきたい。
検査機関	船舶において、国内基準となる国交省の型式承認試験基準があるが、これらは国際標準ではない部分があります。これらをISO化して国際基準とすることで、集約された技術基準に適合するので国内メーカーの負担軽減とあり、ISO適合品ということで販路拡大になり得ます。また、使用者の製品選択においてもISOとJGの双方の基準に適合している製品であれば、船籍による制約が軽減されと考えます。JG試験基準が国際標準（ISO化）となることは製造者にも使用者にも有益ではないでしょうか。 一貫した基準制定作業を担える組織としてJSTRAが最適ではないかと感じています。	主管庁、検査機関への要望。